

meets the artist カメラオブスクラプロジェクト 佐藤時啓+ルチーダフレンズ

針 穴 図 像

“pin-holes” project in Yamaguchi

— 光 の 間 —

meets 2005.2.11_{fri} ~ 3.13_{sun}

the 10:00 ~ 20:00

artist 山口情報芸術センター ホワイエ 及び館内各所

山口のこのステキな路地の光を丸ごと全部写真の中に記憶したい。 ● アーティストと市民の新鮮な発見が詰まった展覧会。



meets

the

artist

山口のこのステキな路地の光を
丸ごと全部写真の中に記憶したい。
アーティストと市民の
新鮮な発見が詰まった展覧会。



「ルチーダフレンズ」の活動 山口情報芸術センター／山口情報芸術センター市民委員会によって企画された市民参加型活動です。公募によって集まった約20名のグループ「ルチーダフレンズ」がアーティスト佐藤 時啓氏と共に、ボランティアで活動しています。05年3月まで、ワークショップやアート作品の制作、活動の記録や展覧会開催等を行っています。

「meets the artist」シリーズ 山口情報芸術センターによる、長期参加型のアートマネジメント活動の名称です。毎年1アーティストと市民が約1年にわたって山口でのアート活動を実践していくことを目的とします。

市民コラボレーターグループ「ルチーダフレンズ」の手によって運営されてきた「カメラオブスクラプロジェクト」では、04年6月のアーティストレクチャーを皮切りに7月のワークショップ、10月の「アートふる山口」出品および「ワンダリングカメラ」による撮影、そして1月には、山口市内の路地裏をオリジナルのピンホールカメラによって撮影するといった活動をおこなってきました。今回の展覧会では、美しい光の文化を持つ現代の山口を、最も始源的な視覚装置であるピンホールカメラの目によって切り取り、大胆に展示します。いつも見慣れた風景がまた違った光景に見えるから不思議です。アーティストと市民がじっくりと取り組んだ活動の成果発表ともいえるこの展覧会へ、ぜひ足を運んでみてください。

さとうときひろ 佐藤時啓 (アーティスト)

57年山形県生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科修了。写真やカメラを通して、人々のコミュニケーションや視線の交錯をテーマとし、展覧会やプロジェクト活動、ワークショップなど幅広い活動を行っている。「ハバナ・ピエンナーレ」(97)ほか多数。03年には、第20回現代日本彫刻展にて宇部興産株式会社賞を受賞している。現在、東京芸術大学先端芸術表現科 助教授。

meets the artist カメラオブスクラプロジェクト 佐藤時啓 + ルチーダフレンズ

針 穴 図 像

“pin-holes” project in Yamaguchi

— 光 の 間 —

2月11日(祝)～3月13日(日) 10:00～20:00
山口情報芸術センター ホワイエ及び館内各所

【主催】文化芸術による創造のまち山口実行委員会／文化庁／山口県／山口市／財団法人山口市文化振興財団
【後援】山口市教育委員会
【企画】山口情報芸術センター／山口情報芸術センター市民委員会

市民の企画
本企画は、山口情報芸術センターと市民委員会の共同事業です。

山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media
〒753-0075 山口県山口市中園町7-7 火曜休館(祝日の場合は翌日)
TEL.083-901-2222 FAX.083-901-2216 e-mail: info@ycam.jp
http://www.ycam.jp i-mode http://mobile.ycam.jp

